

令和元年度 健康推進課 主たる事業（実績見込み）

母子保健事業

志摩市母子保健計画に基づき、妊婦・乳幼児健康診査や健康相談、家庭訪問、健康教育等の各種母子保健事業を実施しました。（1月末現在の実績）

1 妊婦健康診査

妊娠の届出があった妊婦に対し、母子保健のしおりを発行し、全員に保健師による面接を行いました。妊娠届出時のアンケートや、妊娠経過、こころの状態、家庭環境等から支援が必要な妊婦を把握し、必要に応じ電話等により支援を行いました。

また、14回分の健康診査費用を助成し、里帰り等による県外在住妊婦についても、償還払いによる健診費用の助成を行いました。

○母子保健のしおりの発行 : 159人

(転入妊婦6人、双胎2人含む: 2月3日現在)

○1～14回妊婦健診受診者 : 延べ1,717人(4月～12月受診分)

○県外助成 : 11人

2 家庭訪問

生後1～2か月の乳児がいる家庭へ、保健師、助産師、訪問員が全戸訪問を実施し、産婦に対し産後うつの程度を確認するための『エジンバラ産後うつ質問票(EPDS)』等によりこころの状態を確認し、育児不安や育児環境等への保健指導を行いました。

その結果、EPDS高値(9点以上)の人や、育児不安のある人、身体面や育児環境等で経過観察が必要なケースには、保健師による訪問や乳幼児健康相談等により、途切れのない支援を行いました。

○赤ちゃん訪問: 177人(市外依頼分11人を含む)

○産後うつ等支援対象者: 16人

○随時訪問(フォロー児): 32人(1月末)

3 思春期保健事業

乳児や子育て中の保護者との触れ合いにより、思春期の子どもたちが自身の成長を振り返り、自分たちが大切に育てられてきたことに気づき、自己肯定感を高めることを目的に、出前教室「赤ちゃんふれあい教室」として、市内の全中学校に対し健康教育を実施しました。また、乳児親子延べ55組、母子保健推進員延べ20人にも参加いただきました。

○赤ちゃんふれあい教室 : 6校 中学3年生202人